

Ⅲ 計画の基本方針

1 基本理念

本市は、「第四次川越市総合計画」の将来都市像として「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」とし、「教育・文化・スポーツ分野」における基本目標を「歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち」としています。

そして、多文化共生と国際交流・協力の分野における方向性として、「国際化の進展に伴い、多くの市民に国際交流・協力の機会を提供することに努め、外国籍市民を含めた全ての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めます」としています。

これらを受けて、本市の国際化を推進する上での「基本理念」を次のように定めます。

すべての市民が暮らしやすい多文化共生の
まちづくり

2 基本目標

本市の国際化のために、次の4つの基本目標を設定します。

- 基本目標1 外国籍市民への支援の充実
- 基本目標2 国際感覚に優れた市民の育成
- 基本目標3 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり
- 基本目標4 姉妹・友好都市交流の充実

〈海外姉妹都市〉



基本目標 1 外国籍市民への支援の充実

外国籍市民は、言葉の問題や日常生活での悩みなどを抱えている方が多くいます。快適な市民生活を過ごせるように、日本語教室や市民相談を充実させるとともに、多言語による案内表示や情報提供を実施することで、海外からの来訪者や外国籍市民にとって、訪れやすく住みやすいまちづくりを目指します。

また、留学生は、未来からの親善大使と言われるほど、本市にとっては貴重な人材です。しかし、言葉や文化の違いから、地域社会にうまく溶け込むことができず、地域活動にも参加しない人が見受けられます。本市滞在中に有益な経験ができるように留学生の支援に努めます。

- (1) 外国籍市民への支援
- (2) 外国籍市民への情報提供の充実
- (3) 留学生の支援

基本目標2 国際感覚に優れた市民の育成

市内の大学や、海外勤務、留学等の経験のある市民と連携を図りながら、各種講座や研修会を実施するなど、国際感覚に優れた市民の育成に努めます。

日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティアの活動を支援し、その活動を通じて、異文化への理解や相互扶助といったボランティア意識の向上に努めます。また、国際交流に関係する市民団体には支援の充実を図るとともに、連携して国際化の促進に努めます。

学校においては、未来を担う児童生徒のため、英語教育を充実させ、国際理解や世界と触れ合う機会の提供に努めます。

外国人観光客の誘致により、市民の外国人との交流機会を充実させ、国際感覚に優れた市民の育成を図ります。

- (1) 市民の人材育成
- (2) 市民の人材活用
- (3) 国際交流に関係する市民団体等との協力と連携
- (4) 学校における国際化の推進
- (5) 外国人観光客誘致による国際化の推進

基本目標3 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり

多文化共生・国際交流を推進していくための拠点として、国際交流センターを活用し、外国籍市民との相互理解が深まるような事業への支援に努めます。

外国籍市民国際人材ネットの充実を図り、外国籍市民の活用や地域社会への参画を促進します。また、外国籍市民会議を開催し、外国籍市民の意見や要望を把握するとともに、国際化施策への反映を図ります。

多文化共生社会を実現させるためには、全ての市民が、異なる文化を理解し、相互に尊重し助け合いながら共に生活することが大切です。そのためには、交流機会を充実させ、相互理解が深まるようにする必要があります。

- (1) 国際交流センターの充実
- (2) 外国籍市民が活躍できる機会の提供
- (3) 外国籍市民の要望や意見の聴取

基本目標4 姉妹・友好都市交流の充実

川越市姉妹都市交流委員会と連携し、国際交流や異文化への理解を図るため、より多くの市民が関わることのできる交流事業の実施に努めます。また、次世代を担う青少年の相互派遣事業については、関係機関とも連携しながら、事業内容の充実を図ります。

さらに、幅広い分野で交流を行う姉妹・友好都市とは別に新たな地域との「教育」や「文化」など、分野を特定した交流事業について検討するなど、市民に更なる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めていきます。

(1) 姉妹・友好都市との交流事業の充実

(2) さまざまな地域との新たな交流の創出